

郡上農林事務所の普及活動状況 令和5年9月30日現在

今月の重点活動

■トルコギキョウ 化学農薬を使用しない「土壌還元消毒」の試験を開始

9月1日に、高鷲町のトルコギキョウ生産者のほ場で土壌病害対策として化学農薬を使用しない「土壌還元消毒」の試験を開始した。

本試験は、農業技術センター病理昆虫部、農業経営課農業革新支援専門員と共同で行い、効果確認は来年度のトルコギキョウの発病株率を調査して行う。

農業普及課では、トルコギキョウの土壌病害対策の解決に取り組み、高品質安定生産を支援する。



【土壌還元消毒処理後の状況】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■青年農業士 食の祭典軽トラ市に参加&若手農業者支援

郡上地区青年農業士連絡協議会（会員8名）では、9月16～17日に開催された第13回食の祭典inぎふ郡上2023の郡上マルシェ（軽トラ市）に会員自ら出店するとともに若手農業者の出店も支援した。

今年は16日のみの参加となったが、自分自身で作った野菜、花、農産加工品などを直接販売し、消費者へのPRや農産物の評価を知る良い機会となった。

農業普及課は、関係機関と連携を図りながら、今後も青年農業士や若手農業者の活動を支援していく。



【農産物の出店・販売の様子】

■新規就農 新・農業人フェアで就農相談

9月30日、農業普及課は郡上地域での就農希望者を募集するため、東京都で開催される就農相談会としては最大級の「新・農業人フェア」に中濃地域就農支援協議会の一員として参加した。当日の来場者は関東圏での就農希望者が多く、協議会ブースの相談者は20代を中心に6名にとどまった。相談者は着座する前から郡上市での就農をイメージしている訳ではないことから、郡上地域の魅力をアピールし、「移住するなら郡上市へ」、「仕事は農業を」、「研修はトマトの学校で」という流れで説明を行った。

このフェアに参加した相談者には今後も協議会から情報を提供し、現地訪問の希望があれば農業普及課も対応していく。



【説明を受ける相談者】

郡上農畜水産物のブランド展開

■夏秋トマト 夏秋トマト部会中間目揃会を開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会は、9月14日に郡上総合庁舎で中間目揃会を開催した。今年度は生育前半から気温が高く推移したため、生育は順調に進み、前年を上回るペースで出荷が推移している。

全農や市場関係者から出荷動向についての説明があり、9月に入り品薄状況で、この先も高値販売が予想される中、終盤まで継続して出荷されるよう産地への要望が伝えられた。農業普及課からは、病害防除を含めた摘芯後の生育管理（かん水、施肥、保温方法等）について説明を行った。

農業普及課では、各部会員に対して最終段まで収量が確保されるよう指導を続けていく。



【出荷規格の確認】

中山間地域を守り育てる対策

■夏だいこん サル害対策について視察研修

令和5年産ひるがの高原だいこんの出荷も終盤に差し掛かり、生産者は病虫害の発生に苦慮しながらも、品質の良い製品出荷に向け栽培管理や出荷に務めている。近年、高鷲町上野地区でも頻繁にサルを見かけるようになり、サルによる食害が多くみられるようになった。ひるがの高原だいこん生産出荷組合では、サル害抑制を図るため、長野県に視察研修を行い、サル害対策について学んだ。視察では、檻によるサルの捕獲のほか、群れの行動把握と追い払い方法について理解を深め、高鷲地域での取り組みに活かせるよう検討することとなった。

農業普及課では、農業振興課と連携してサル害対策に関する情報提供等をするとともに、サル害軽減に向け対策を検討していく。



【視察研修の様子】